



# 雲南スキルアップセミナー開催

8月26日(水)に出張スキルアップセミナー「雲南圏域地域医療従事者スキルアップセミナー」を雲南市立病院様のご厚意にて開催いたしました。今回は「血液の病気と地域連携について」をテーマに当院の医師(大居副院長「すぐに役立つ血液疾患の基礎知識と地域連携」)、薬剤師(南目病棟業務課長「抗がん剤の副作用について」)、看護師(伊藤がん化学療法認定看護師「抗がん剤の暴露対策について」)が講演いたしました。



昨年度に引き続き2回目の開催となりましたが、雲南圏域の医療従事者の方々50名の参加を得、「すぐに現場で生かせる内容であり良かった」「とても参考になった」などのご意見を多数いただき、また、講演終了後も個別に質問をいただくなど有意義なセミナーとなりました。

今後も地域の医療従事者の皆様との連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 新任医師紹介



●平成27年9月1日付

病理診断科

### 江角 知香

初めまして。松江に住むのは高校以来2度目になります。住みやすい街だと思います。これから、頑張りますので、よろしくお願いいたします。



●平成27年9月24日付

消化器内科

### 尾上 歩美

当院での研修を終え、女兒を出産し、この度消化器内科医師として復帰しました。専門的な知識・技術を身につけ、信頼できる医師になれるよう頑張ります。



●平成27年10月1日付

歯科口腔外科副部長

### 中林 基

地域の先生方と病診連携をとりながら、患者さんと地域医療に貢献していける様、頑張ります。宜しくお願い致します。



●平成27年10月1日付

呼吸器内科

### 池内 智行

10月より呼吸器内科勤務となりました。患者さまのお役に立てるよう頑張っていきますので、何卒よろしくお願いいたします。



●平成27年10月1日付

消化器内科

### 多田 育賢

島根大学附属病院、島根県立中央病院で診療・研究を行ってきました。炎症性腸疾患を中心に、消化器疾患全般の診療に力を入れたいと思っています。

## 行事案内

### 市民公開講座 眼の治療最前線

11月15日(日) 13:00~16:00  
松江赤十字病院 本館6階講堂



## 退職者

●平成27年8月31日付  
消化器内科副部長 千貫 大介

●平成27年9月30日付  
呼吸器内科医師 武本 祐

●平成27年9月30日付  
整形外科医師 松浦 幸男

## 松江赤十字病院 地域医療連携課

〒690-8506 松江市母衣町200番地  
TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261

# れんけいだより



## 医療技術部の紹介



医療技術部長  
青木 昭和

医療技術部は現在、臨床工学課と栄養課の2部門から構成されています。ともに病院における医療を支える基本的な分野を担当しており、医師・看護師と同様、その専門性を強く要求される部門です。医療技術が進歩し、一層複雑化する高度医療の中で、正確で安全な工学技術を提供している臨床工学課。一方で、患者様の生活に欠かせない適切な食事を一手に引き受け更に栄養指導で将来の健康にもアドバイスをしている栄養課。この場を借りて、この2部門の紹介を致します。

### 【臨床工学課】

臨床工学課は、現在9名の臨床工学技士、1名の技術員、1名の委託業者でMEセンターを拠点に業務を行っています。臨床工学技士がどんな仕事をしているかというと、簡単に言えば医療機器のお医者さん(メンテナンス業務)と、チーム医療の一員として生命維持管理装置(人工心肺装置・血液浄化装置・人工呼吸器・不整脈治療装置など)の操作を行い患者さんの治療に携わっています。医療機器が安全に使用でき、ま

た安心できる医療を提供することが私たちの仕事です。日々新しい医療機器が開発されていく中で、医療機器のスペシャリストとして患者さんにより安全で安心な医療が提供できるよう日々精進しています。

### 【栄養課】

栄養課は、病院職員と日清医療食品株式会社(給食委託会社)と協働で患者さまの食事提供を行っています。そのチームワークは良好で、課内で五つのワーキング(献立、衛生、運用整備、広報、患者サービス)をつくり業務改善に取り組んでいます。日常の食事提供に加え、行事食や病棟イベントの協力にも力を注いでいます。

栄養食事指導の件数は全国でもトップレベルであり、管理栄養士は日々自己研鑽に努めています。また、多職種で行うNST(栄養サポートチーム)の活動は15年の歴史があります。地域連携のための講演依頼などにも積極的に応じています。

9月26日の病院祭りでは、赤飯おにぎりや豚汁の販売を日清医療食品株式会社と合同で行いました。その他に、ウェルカムクッキーの配布、検診センターでの栄養相談、市民公開講座での安原係長の講演など、皆で力を合わせ頑張りました。



# 乳がん遺伝相談外来開設について

乳腺外科部長  
曳野肇

乳がんのうち、5%程度は遺伝的な要因が関係しているといわれています。最も有名なものが、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（Hereditary Breast and/or Ovarian Cancer Syndrome : HBOC）です。その発症に關係する遺伝子として、BRCA1とBRCA2の二つが同定されており、これらの遺伝子に変異がある女性は、生涯の乳がん発症リスクが45～85%、卵巣がん発症リスクが10～50%といわれています。さらに若くして乳がんになるとか、乳がんが多発するという特徴があります。米国女優のアンジェリーナ・ジョリー氏が、BRCA遺伝子を受け継いでいることがわかり、リスク低減手術として、予防的乳房切除術および卵巣卵管切除術を受けたことで、日本でも一躍関心が高まりました。

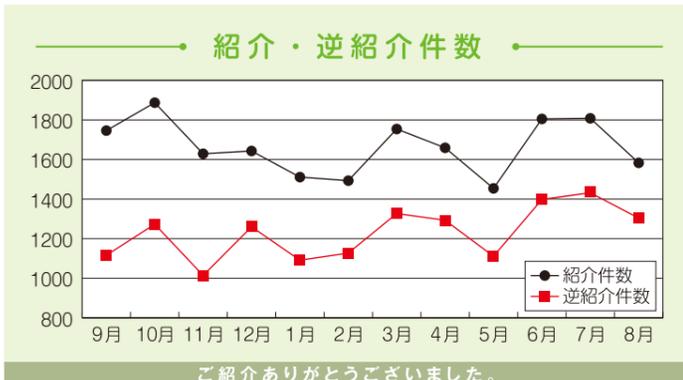
HBOCに対しては多くの研究がなされていて、対応する方法があります。遺伝性がん発症リスクを評価し、リスクの高い人に対して早期からカウンセリング、遺伝子検査、さらに乳がんの早期発見や卵巣がんのリスク低減手術などを通して、生命予後を改善することができます。

遺伝性素因があるかどうかは、まず家族歴から推測します。血縁者の中に、①40歳未満で乳がんを発症した方がいる、②年齢を問わず卵巣がん（卵管がん・腹膜がん含む）の方がいる、③一人でも時期を問わず原発乳がんを2個以上発症した方がいる、④男性で乳がんを発症した方がいる、⑤ご本人を含め乳がんを発症した方が3名以上いる、⑥トリプルネガティブ乳がん（エストロゲン受容体・プロゲステロン受容体・HER2たんぱく いずれも陰性）の方がいる、という内容が一つでも該当する方は、HBOCの可能性が考えられています。

当院では、2015年9月から、乳腺外科医、認定看護師による乳がん遺伝相談外来を開設しました。採血による遺伝子検査（自費診療）の体制も整えました。現在、日々の診療の中で患者さんに遺伝性素因がないかをチェックし、必要な方には情報提供しています。遺伝性素因があることを知ることで、患者さんは非常に重い課題を抱えられることになるかもしれません。乳がん遺伝相談外来では、患者さんと一緒に考えていきたいと思っています。

### 乳がん遺伝相談外来開催日時

毎月第2木曜日、第4木曜日の午後3時～（1時間程度）※自費診療  
※個人情報には細心の注意を払って行います。



## 松江赤十字病院 地域連携交流会

今年度の「松江赤十字病院地域連携交流会」を8月6日（木）にホテル一畑において開催いたしました。この交流会は、地域の開業医の先生方との交流を深めることを目的に始まり、今年で12回目を迎えます。今回は開業医の先生方55名、病院関係者80名の計135名と過去最高の参加を得、盛大に開催することができました。

第一部では、「松江赤十字病院の診断、治療」をテーマに、当院医師による三題の講演（齋藤心臓血管外科部長「心臓血管外科の現状」、徳安呼吸器内科部長「肺がんの早期診断について」、谷戸眼科部長「緑内障の治療について」）を行い、「分かりやすい内容で勉強になった」「病院の現状が分かって良かった」などのご意見をいただきました。



第二部の懇親会は、大居副院長の司会のもと、秦院長及び開業医を代表して島根県医師会副会長の湯原紀二先生からご挨拶をいただき、磯和副院長の音頭による乾杯で開演となりました。新任副院長、新任部長の紹介などを含めて約1時間半、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができ、また、率直な意見のやり取りをさせていただくことができました。ご参加いただきました先生方にはこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

## 病院まつりを開催

数日前からの雨の影響もあり、当日の天候が心配されましたが、昨年より地元住民との交流を深めるため始まった『病院まつり』は、無事9月26日（土）に開催することができました。

オープニングは本館1階ホスピタルモールにて、院長の挨拶により午前10時にスタートしました。

本館玄関前では、当院栄養課による軽食コーナーで赤飯ととん汁を提供し、午前中のうちに完売するほど好評でした。ホスピタルモールでは、当院医師によるミニ演奏会コーナー、医療安全推進課による医療安全コーナー、リハビリテーション科による車椅子体験・装具展示コーナー、看護部による血圧・体重・握力の測定コーナー、高齢者・妊婦さん体験コーナー、臨床工学課による医療機器体験コーナー、検査部による顕微鏡観察コーナー、健診部・栄養課による健診・栄養相談コーナー、白衣や救護服を着ての記念撮影コーナー、骨髄バンク登録コーナーを設け、昨年から一番人気のヘリポート見学の受付は360名の申込みがありました。また、日本赤十字社の公式マスコットキャラクターであるハートラちゃんとの記念撮影もあり、子供たちに大好評でした。公開空地では、フードコーナーに6店舗（から揚げ・クレープ・しまねっこ人形焼き・焼きそば・たこ焼き・トロピカルジュース）、ゲームコーナーに5店舗（ヨーヨーつり・スーパーボールすくい・輪投げ・あてくじ・射的）、販売コーナーに1店舗（JA 野菜市）が出店し、災害車両や救急車の車両展示コーナー、日赤島根

県支部による災害備品・非常持出品展示コーナー、看護部による心肺蘇生の実演コーナー、そして、今年は子供たちの目玉とも言えるミニSLコーナー（遊戯用ミニSL・ミニ新幹線）を設け、227名乗車の盛況ぶりでした。また、院内保育所の園児による神輿も登場して、盛り上げてくれました。本館6階講堂・会議室では、当院医師による市民公開講座（午前の部：がん対策講演会『できてますか？ がんへの備え』午後の部：リンパ浮腫講演会『リンパ浮腫：自分でできること』）を開催し、検査・体験コーナー（肝炎検査・肺機能検査・乳がん自己検診・ピアサポーター相談会）を設けました。

以上のような内容で、今年の『病院まつり』は830名の来場をいただき、盛大に開催することができました。ご来場、ご協力いただきました皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

